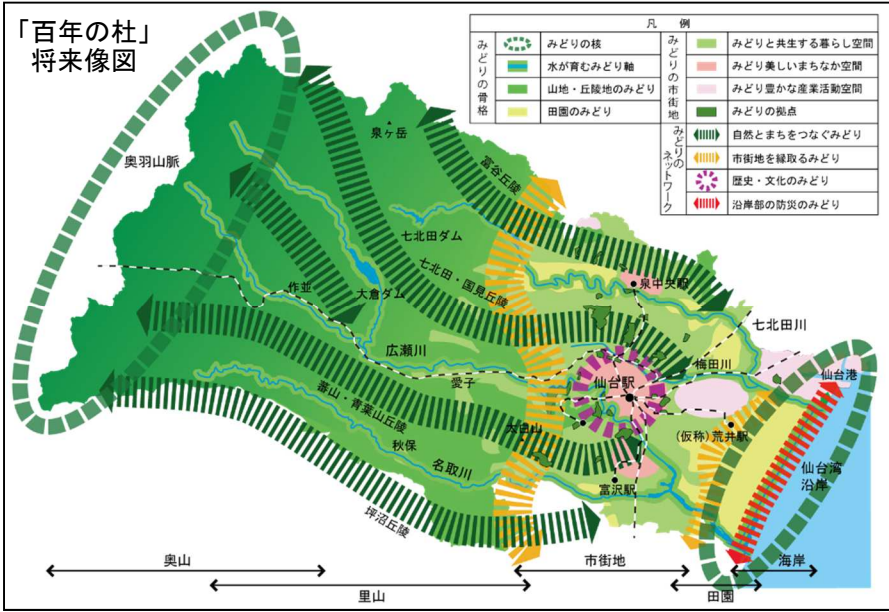


### 仙台市みどりの基本計画の進行管理について

みどりの質・量の目標の最終的な達成状況を整理するとともに、百年の杜づくりプロジェクトについては、計画最終年度（令和 2 年度）までの各プロジェクトにおける主な事業の実績をとりまとめる。

#### 1) 計画の概要

○基本理念：みんなで育む「百年の杜」



○基本方針と百年の杜づくりプロジェクト

「百年の杜」将来像の実現に向け、5つの基本方針を設定。そのうち、重点的に実施する重要かつ緊急性の高い事業・取組みを百年の杜づくりプロジェクトを選定し、定期的に行進管理を実施してきた。



## 2) 計画の進行管理

### ○みどりの質に関する目標

質については、安全安心、自然環境、生活環境、仙台らしさ、市民協働に関して定性的な目標を定めているが、それらを測る定量指標として、百年の杜づくりプロジェクトにそれぞれ2つずつの成果指標を設定していることから、計画期間である令和2年度時点での成果指標の達成状況について評価した。

目標1：**安全安心** 自然災害を防ぎ、被害を軽減する「みどりの質」を高めます

#### ①みどりによる津波防災プロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基 準 値	目 標 値	実 績
海岸防災林の植林面積 (国による民有林直轄治山事業等)	-	対象面積全て※	163.45ha/9年
海岸公園の開園面積	-	一部開園	開園面積 37.5ha (事業完了)

※計画策定時に事業範囲を確定せず、実績に応じるものとした

〈評 価〉

海岸防災林の植林面積について、ふるさとの杜再生プロジェクトによる植樹の実施などにより着実に拡大した。

また、海岸公園の開園についても、平成29年(2017年)度に災害復旧工事が完了するとともに避難の丘を整備し、平成30年(2018年)7月には全施設の利用を再開できた。



海岸防災林の植林状況  
(令和2年9月撮影)



海岸公園完成式  
(平成30年7月)

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	海岸公園再整備事業(A1)	海岸公園について、防災の視点や自然環境に配慮しながら再整備を行う。	全地区の災害復旧工事完了、全面利用再開	◎ 完了済
②	避難の丘等の整備(A2)		4地区に避難の丘整備完了	
③	ふるさとの杜再生プロジェクト(A4)	東部地域の公園等において、市民や関係団体との協働による植樹活動を行う。	市民植樹を毎年開催 Facebook 開設	S
④	屋敷林(居久根)の再生・創出(A5)	津波被害を受けた屋敷林の再生等の支援を行う。また、防災集団移転で屋敷林を意識した緑地の整備を行う。	再生支援活動 9回 緑地整備 5箇所	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

目標 2 : **自然環境** 生物多様性の保全や地球温暖化の緩和に寄与する「みどりの質」を高めます

②みどりの骨格充実プロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基 準 値	目 標 値	実 績
二酸化炭素固定量	平成 22 年度 30,289t/年	42,500t/年	令和 2 年度 37,629 t/年
身近な生き物の認識度	平成 22 年度 9 種合計 440.7%	現在より向上	令和元年度 9 種合計 505.3%

〈評 価〉

二酸化炭素固定量については、算出対象となる高木植栽本数、新規都市公園開設面積、市有林の施業面積で、目標達成に必要な事業量を確保できなかったことから、目標値を下回った。

身近な生き物認識度については、自然環境を生かした公園緑地整備、河川改修の実施により、生き物の生息環境の改善を図ったことや仙台市生物多様性地域戦略(H28作成)に基づく市民イベントを開催したこと等、生物多様性に関する普及啓発に努めたこと等により、基準値を上回り目標に達した。

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	法に基づく特別緑地保全地区制度の活用(B2)	都市近郊の大規模な緑地を「特別緑地保全地区」として指定し、適正に保全する。	東原地区、八木山弥生町地区の2箇所を指定	A
②	条例に基づく保存緑地の保全(B5)	「保存緑地」の行為の規制、援助金等による助成、土地の買取等を行い、適正に保全する。	・行為届出(通知) 10件 ・協力援助金等 約 54,992千円 ・土地の買取 約 1.1ha ・保存緑地2地区を特別緑地保全地区へ移行	A
③	生物多様性保全推進事業(B9)	仙台市生物多様性地域戦略を策定し取組みを推進する。	生きものの観察会やカジカガエル生息地マップの公開、HPを通じた生きものの鳴き声の音源配信等を実施	A
④	与兵衛沼公園等整備事業(B10)	与兵衛沼及びその周辺樹林地を活用した公園整備を行う。	駐車場、広場等の整備	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

目標 3 : **生活環境** 市民ニーズに対応し、快適な暮らしを支える「みどりの質」を高めます

③街のみどり充実プロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基 準 値	目 標 値	実 績
市街化区域内の民有地の緑化面積	平成 22 年度 21.86ha	50ha 増/9 年	57.77ha 増/9 年
市街化区域内の樹林地面積	平成 21 年度 3,836ha	現状維持	令和元年度 3,604ha

〈評 価〉

民有地の緑化面積については、条例に基づく緑化計画制度の適正な運用により、緑化面積が着実に増加し、目標を達成した。市街化区域内の樹林地面積は、開発行為（貝ヶ森、錦ヶ丘、根白石地区などで約47ha）と東日本大震災の津波による消失（主に蒲生地区で約3ha）により、減少したと考えられ、目標は達成できなかった。

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	条例に基づく緑化の推進 (C1)	条例に基づく緑化計画書の提出・認定制度により民有地のみどりの創出を図る。	緑化計画の認定 計画認定件数 113 件 【下半期累計】 計画認定件数 571 件	※ —
②	生垣づくり助成事業 (C6)	民有地の接道部緑化のため、生垣づくりに対し助成金を交付する。	助成金の交付 助成件数 58 件(植栽本数 2264 本, 植栽延長 847.5m) 【下半期累計】 助成件数 530 件(植栽本数 20,033 本, 植栽延長 7,246.5m)	A
③	緑化木植栽助成事業 (C7)	公共的な場に樹木を植栽する団体に助成金を交付する。	助成金の交付 助成件数 1 件(植栽本数 5 本) 【下半期累計】 助成件数 16 件(植栽本数 1,636 本)	A
④	コミュニティガーデンづくり (C8)	地域団体が行う花壇づくり等に対し助成金を交付する。	助成金の交付 ・花壇づくり助成 263 件 ・花いっぱいまちづくり助成 5 件 ・ポケットパーク協定 4 件 【下半期累計】 ・花壇づくり助成 1,387 件 ・花いっぱいまちづくり助成 33 件 ・ポケットパーク協定 20 件	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった  
※条例に基づく提出義務があるため、進捗度は評価の対象としない



#### ④魅力ある公園づくりプロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基 準 値	目 標 値	実 績
街区公園整備・再整備箇所数	平成 22 年度 45 箇所	450 箇所/9 年	307 箇所/9 年
市民の公園利用頻度	平成 24 年度 21.4%	現在より向上	令和元年度 21.0%

〈評 価〉

街区公園の再整備・整備箇所数は、事業費の確保に難航したことなどにより、目標が達成できなかった。公園利用頻度についても、基準値からの向上を目指していたが、ほぼ横ばいであった。

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	身近な公園整備・再整備事業 (D1)	街区, 近隣, 地区公園について, 市民ニーズに応じた整備, 再整備を行う。	公園 41 箇所を整備 【下半期累計】 公園 194 箇所を整備	A
②	高砂中央公園整備事業 (D7)	仙台市東部地区のみどりの拠点となる総合公園を整備する。	多目的広場の整備 管理センター新築	A
③	健康づくり公園整備事業 (D13)	健康遊具の計画的な配置等により健康づくりや介護予防に資する公園を整備する。	健康遊具設置 2 公園(全 6 基) 【下半期累計】 12 公園(全 36 基)	A
④	公園愛護協力会の支援 (D15,G5)	公園愛護協力会の活動を支援し, 連携して地域の実情に応じた公園の管理を行う。	結成団体数: 28 団体 【下半期累計】 123 団体結成	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

〈「仙台市公園マネジメント方針(H29作成)」主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
⑤	榴岡公園の民間事業者による新しい公園サービスの提供 (M3)	民間活力の積極的な導入を図り, より質の高いみどり空間の形成に努める。	Park-PFI 事業による新たな公園サービス提供についてはいったん保留とし, 地域団体等との連携による事業実施について協議	B
⑥	勾当台公園グリーンハウス勾当台前広場活性化事業(M4)	民間事業者との連携により, 東北の魅力を発信する事業を実施して, 公園を含む地域全体のにぎわいと魅力の向上を図る。	・新たに 7 つの自治体と連携しカフェレストランでのプロモーションを実施 ・食以外の魅力発信のため, 広場において, 東北の工芸品の紹介・販売イベントを実施	A
⑦	都市公園の機能再編事業 (M7) (旧: D2 公園緑地リニューアル事業)	環境の変化や地域ニーズに応じた, 公園が持つ機能の分担を行う。	2 公園の再整備工事を継続施工中	A
⑧	公園施設総合改修計画の作成 (M17) (旧: D16 公園施設長寿命化計画)	効率的・効果的な管理・改修と予算平準化のため, 公園施設総合改修計画を作成する。	公園施設(橋梁, 照明灯)の改修計画作成, 公園施設(トイレ)の改修計画作成に着手, 総合改修計画の作成に着手	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

目標4： **仙台らしさ** 歴史や文化と調和し、仙台らしさを表す「みどりの質」を高めます

⑤みどりの地域資源活用プロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	実 績
保全制度による屋敷林・鎮守の杜の新規保全箇所数	平成 22 年度時点 2 箇所	10 箇所増/9 年	10 箇所増/9 年
百年の杜ホームページのアクセス数	平成 22 年度 62,324 件/年	120,000 件/年	令和 2 年度 119,456 件/年

〈評 価〉

屋敷林・鎮守の杜の新規保全箇所数は、杜の都の環境をつくる条例に基づく保存樹林制度の活用により屋敷林等の貴重な樹林の新規指定が行われ、目標を達成できた。

百年の杜ホームページアクセス数は、「わがまち緑の名所100選」など、みどりに関心のある市民から注目度が高いページはアクセス数が多く、また、イベントの告知等ではFacebookの専用アカウントを開設するなど、情報発信の充実に努めたところ、目標値をほぼ達成した。



若林区長喜城の屋敷林  
(平成 30 年 12 月指定)



青葉区上杉六丁目の屋敷林  
(平成 29 年 11 月指定)

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	屋敷林(居久根)・鎮守の杜の保全(E5)	屋敷林・鎮守の杜について、有効な保全方策の検討を行い、所有者と協定締結等により保全を図る。	法令等に基づく指定 10 件 (柳生、野村等の屋敷林)	A
②	保存樹木・保存樹林の指定 (E6)	地域を象徴するランドマークとして条例に基づき「保存樹木」、「保存樹林」に指定する。	保存樹木指定 11 件, 保存樹林指定 10 件	A
③	陸奥国分寺・国分尼寺跡整備事業(E8)	国史跡陸奥国分寺・国分尼寺跡を恒久的に保存し市民が地域の歴史・文化に触れ親しむ場として整備・活用する。	・第1次整備工事の完了 ・第2次整備工事に向けての用地取得, 埋蔵文化財の発掘調査の実施	A
④	泉ヶ岳の利活用推進事業 (E10)	泉ヶ岳の良好な自然環境の保全を図り、各種イベントや情報発信, 市民協働による森づくり等の取組みを行う。	毎年各種イベントの開催 R2年度実績: 植樹 225 本, 自然観察会, ミズパショウ調査等	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

⑥「百年の杜」シンボルエリア形成プロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基準値	目標値	実 績
仙台都心部緑化重点地区内緑被率	平成 21 年度 11.7%	13%	令和元年度 14.2%
仙台都心部 10 路線平均緑視率	平成 20 年度 26.8%	30%	令和 2 年度 32.3%

〈評 価〉

仙台都心部緑化重点地区内の緑被率については、民有地緑化の増加や街路樹、公園樹の成長などにより、目標値を上回った。仙台都心部10路線平均緑視率についても、緑被率と同様に既存の街路樹などの成長により、目標値を上回った。

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	青葉山公園整備事業 (F1)	歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	・追廻地区 青葉山公園(仮称)公園センター建築工事着手、公園センター地区施設整備工事着手、中央広場実施設計完了	A
②	西公園再整備事業 (F2)	「市街地のみどりの回廊づくり」の拠点に相応しい、公園として再整備する。	こけし塔前広場、南側エリア(源吾茶屋周辺)の完成、中央広場の工事実施、多目的広場の基盤整備着手	A
③	広瀬川創生プランの推進(F4)	広瀬川の保全と新たな魅力創造のためイベント開催、ホームページを利用した情報発信等を行う。	毎年各種イベントの開催 R2年度実績(一部イベントは新型コロナの影響により中止) 広瀬川自然体験学習 30 人 広瀬川 HP 平均アクセス数 68 人/日	A
④	青葉通再整備事業 (F10)	青葉通再生基本構想に基づき、ケヤキの復植を含め、青葉通の再生を行う。	一番町工区におけるケヤキ・低木植栽、仙台駅西口工区の沿道開発動向注視	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった

目標 5 : **市民協働** 市民が仙台のみどりを地域の誇りと感じ、様々な主体が連携してみどりの活動を行う「みどりの活動環境の質」を高めます

⑦市民主体のみどりのまちづくりプロジェクト

〈成果指標〉

内 容	基 準 値	目 標 値	実 績
みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数	平成 22 年度 193 件/年	1,500 件/9 年	964 件/9 年
みどりの活動を行う事業者数	平成 21 年度 248 事業者/年	2,300 事業者/9 年	3,105 事業者/9 年

〈評 価〉

みどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数について、目標値の 7 割程度と目標は達成できなかった。東日本大震災以降イベント数が減ってしまったことや、団体会員の高齢化により活動が縮小していることが要因と考えられる。

みどりの活動を行う事業者数は、目標を達成しており、広瀬川の清掃活動イベントなど、参加するイベントへの携わり方が協賛や寄付など多様になっているためと考えられる。

〈主な事業の実績〉

	事業名	概 要	R2年度(まで)の主な実績	評価
①	みんなの森づくり事業 (G7)	市民協働による森づくりを目指し、林業体験型事業等を実施する。また、森林ボランティアを育成する。	新型コロナの影響により各種イベントを中止 【参考】過年度開催イベント：しいたけの森づくり、市民育樹祭、アドバイザー養成講座	B
②	広瀬川1万人プロジェクト (G9)	毎年 4 月と 9 月に流域一斉清掃を実施するほか、フォーラム等を開催する。	毎年一斉清掃を実施 R2年度実績(新型コロナの影響により規模を縮小)：春(中止)、秋 1,273 人	B
③	みどりのイベントの開催 (G10)	みどりを育む意識を高めるため、みどりのイベントを行う。	新型コロナの影響により各種イベントを中止 【参考】主な中止イベント：新緑祭、植木市、百年の杜づくりフォーラム	B
④	緑の活動団体の認定と支援 (G15)	みどりの保全・創出・普及に関する活動を行う市民団体を「緑の活動団体」と認定し、支援する。	新規 0 団体、再認定 4 団体、継続 22 団体 【下半期累計】 新規 5 団体、再認定 33 団体、継続 82 団体	A

【評価の凡例】 S : 予定を上回り進んだ A : 概ね予定通り B : 予定通り進まなかった



○みどりの量に関する目標（令和２年度末時点）

評価対象	指 標	基準値 (平成 22 年度)	目標値	実 績
市域 全域	みどりの総量 (緑被率)	78.8%※ <sup>1</sup>	維持・向上	78.4%※ <sup>2</sup>
都市計画 区域	都市公園等の 一人当たり面積	15.8 ㎡	20 ㎡	18.6 ㎡
	都市公園の 一人当たり面積	12.8 ㎡	17 ㎡	15.5 ㎡
市街化 区域	市街地のみどりの 総量（緑被率）	29.8%※ <sup>1</sup>	維持・向上	30.2%※ <sup>2</sup>
	担保性のある 緑地の面積	約2,200ha	250ha 増	約 2,456ha 256.61ha 増

※ 1：平成 21 年度調査，※ 2：令和元年度調査

- ・ 都 市 公 園 等：都市公園及び公開されている公共施設で都市公園と類似する施設  
例) 屋外運動施設，児童遊園，港湾緑地，文化財関係施設，生涯学習施設など
- ・ 担保性のある緑地：都市公園などの施設緑地  
地域制緑地  
例) 風致地区，特別緑地保全地区，保存緑地など

〈評 価〉

市域全域のみどりの総量は基準値から若干の減少となった。市街化調整区域や都市計画区域外における開発等が主な要因として考えられる。

都市計画区域は，都市公園（等）の一人当たり面積がともに目標を達成できなかった。現行計画策定時の想定以上に計画期間中の人口増加が続いたことや，供用が見込まれていた緑地で境界確定手続きが整わず，面積加算ができなかったことが要因と考えられる。

市街化区域は，みどりの総量は基準値を上回っており，目標を達成した。また，担保性のある緑地面積についても，目標を達成した。

3) 総評

みどりの質の目標では，「安全安心」や「仙台らしさ」の一部の成果指標において，海岸防災林の植林面積や屋敷林等の保全箇所数，仙台都心部緑化重点地区内緑被率の向上など目標値を達成したものがあり，東部地域の防災性の向上や地域資源の保全等を図ることができた。

一方，「自然環境」や「生活環境」，「市民協働」に関する成果指標では，二酸化炭素固定量や市民の公園利用頻度，ホームページアクセス数など目標を達成できなかった。また，街区公園整備・再整備箇所数やみどりの市民活動団体主催の市民向けイベント数では，それぞれの現況値が目標値の6割台に留まっており，原因としては，計画策定以降の関係団体の担い手の高齢化や財政状況の悪化等が考えられるものの，設定した目標がやや高めだったのではないかと推察される。目標値未達成の指標の中には，地球温暖化の緩和や身近なみどりの充実，市民協働の更なる推進など，本市の重要な課題に関係しているものが含まれていることから，関連する施策・事

業について、引き続き取組んでいく必要がある。

みどりの量の目標では、市街化区域内のみどり（市街地のみどりの総量、担保性のある緑地の面積）に関して目標を達成した。また、既成市街地等においては一定程度のみどりの充足が図ることができたと考えられる。一方で、市域のみどりの総量の減少や都市公園（等）の一人当たり面積の未達成など、市域全域及び都市計画区域内のみどりに関する目標は達成できなかった、また、市街化区域のみどりについても適正な配置が課題であり、みどりの保全や創出に関する施策・事業についても引き続き取組んでいく必要がある。